



出前講座報告書



福島県立医科大学

性差医療センター
災害医療総合学習センター
医学部公衆衛生学講座

平成27年11月27日会津若松合同庁舎

テーマ

循環器疾患の1次から3次予防

循環器疾患の予防について、心臓カテーテルの画像を見ながらの基本的な知識から、食事（主に塩分）による一次予防、さらには心臓リハビリテーションによる三次予防まで、幅広く学ぶ講義でした。



遠藤先生からのお知らせ

竹田総合病院でも心リハをしています！

グループワーク



4グループに分かれて、学んだことについて話し合いました。新しい学びは、**減塩**、**心リハ**、**フレイル**、住民に伝えたいことは、**減塩と運動**の大切さでした。



アンケート集計結果

参加者は20名、アンケート回収は19名でした。

評価項目	(そう)思う(※)	研修内容については、ほぼ全員が理解でき、役立つと思うと回答しました。自由記載では、すぐに活用したい、同僚に伝えたいという意欲がうかがえました。
研修の資料や進行について 配布資料は適切だった 時間配分は適切だった 進行は適切だった	95% 58% 89%	
研修の内容について 循環器疾患の予防について理解できた 講義は今後の保健活動に役立つと思う 話し合いは今後の活動に役立つと思う	95% 95% 95%	「栄養指導で即、話しの内容に入れる予定です。」 「情報を職場で共有したい。」

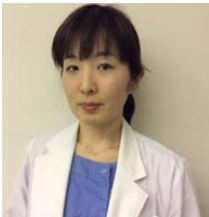
*1 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

復習 ポイント

- ・保健指導の必要性を伝えるにはどうしたらよいでしょう？
- ・食事療法(とくに減塩)の意義は？
- ・心臓リハビリの必要性は？
- ・フレイルの理解を深めましょう。



講師紹介



太田西ノ内病院
循環器内科医長
遠藤教子先生

H25年から現職。心疾患の再発防止プログラムとして、心臓リハビリテーションという、非常に効果的な治療があります。当院では2005年から再発リスク低減のため導入しています。日本ではようやく普及のきざしが見えてきましたが、まだまだ認知度は低いのが現状です。少しでも多くの医療従事者、そして市民の方に伝えていくことが大切と考え、活動しています。

編集後記 90分と短めでしたが、時間配分以外は、非常に高い評価を得ることができた効率の良い研修でした。減塩と運動という従来の保健指導のポイントと、心リハとフレイルという新しい事項も学べました。保健と医療のつながりの必要性・重要性を強く感じられたのが、保健分野の研修会としては新鮮でした。

(後藤)



出前講座は「福島県保健師現任教育指針」の枠組みで行っています。

